

CAMベトナムファンド

追加型投信／海外／株式

交付運用報告書

第29期

決算日：2024年12月10日

作成対象期間：2024年6月11日～2024年12月10日

第29期末（2024年12月10日）	
基準価額	26,531円
純資産総額	4,546百万円
第29期中 （2024年6月11日～2024年12月10日）	
騰落率 [※]	△2.7%
分配金合計	0円

※騰落率は分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼を申し上げます。当ファンドはCAMベトナムマザーファンドの受益証券への投資を通じて、実質的に、主にベトナムの取引所に上場している株式、ならびに世界各国・地域の取引所に上場しているベトナム関連企業の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。ここに、当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電子交付することが定められています。運用報告書(全体版)は、下記の手順にてご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

< 閲覧方法 >

右記URLにアクセス⇒「ファンド情報」⇒「運用ファンド」ファンド名称より「運用報告書」を選択ください。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区内神田一丁目13番7号 四国ビルディング9階

< お問い合わせ先 >

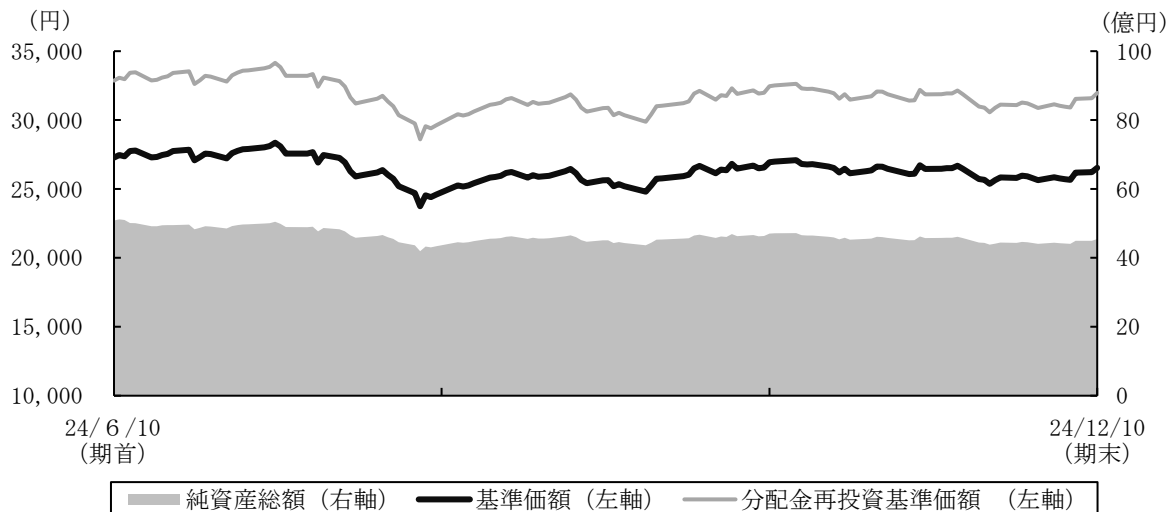
[電話番号] 03-5259-7401

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

[ホームページ] www.capital-am.co.jp

◆ 運用経過の説明 ◆

1. 基準価額の推移 (2024年6月11日～2024年12月10日)



第29期首：27,276円

第29期末：26,531円 (既払分配金0円)

騰落率：△2.7% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

2. 基準価額の主な変動要因 (2024年6月11日～2024年12月10日)

- ・当期末の基準価額は26,531円と前期比745円の減少となり、騰落率は分配金再投資ベースで前期比2.7%の下落となりました。
- ・基準価額の主な変動要因は、参考指数のベトナムVN指数が1.1%下落したのに加え、ベトナム通貨ドンの対円為替相場が3.3%のドン安円高となるなど、円ベースでは4.4%の下落になったことによるものです。

3. 当期中の1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	346円	1.313%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率です。 なお、期中の平均基準価額は26,366円です。
(投 信 会 社)	(233)	(0.882)	・ 委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(102)	(0.386)	・ 運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後のアフターフォローの対価
(受 託 会 社)	(12)	(0.044)	・ 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.012	(b) 売買委託手数料は期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
(株 式)	(3)	(0.012)	売買委託手数料とは、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料です。
(c) 有 価 証 券 取 引 税	2	0.008	(c) 有価証券取引税は期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
(株 式)	(2)	(0.008)	有価証券取引税とは、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金です。
(d) そ の 他 費 用	21	0.081	(d) その他費用は期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	・ 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(保 管 費 用)	(15)	(0.055)	・ 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(5)	(0.021)	・ 信託事務の処理等に要するその他の諸費用(目論見書・届出書および報告書の作成、交付、印刷に係る費用等)
合 計	373	1.413	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

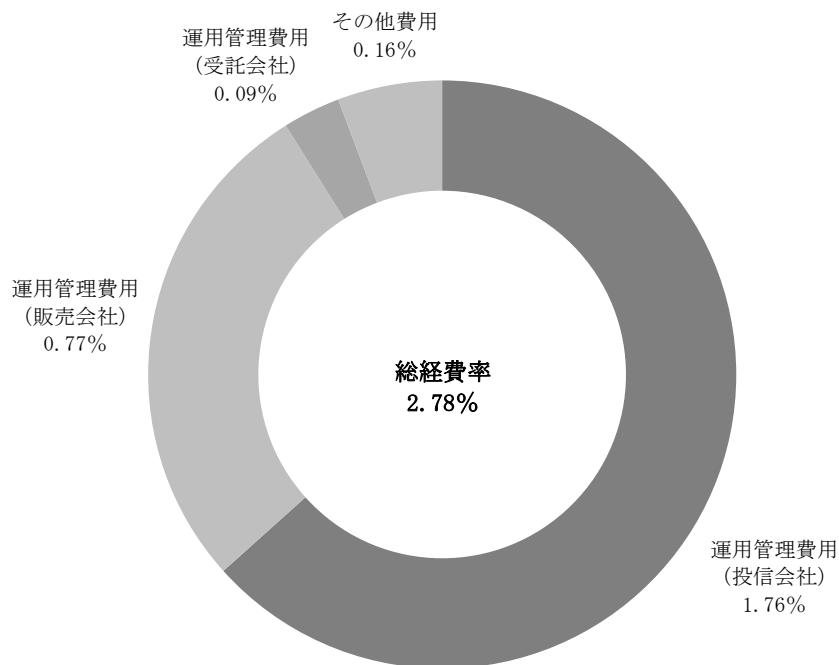
(注2) 「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.78%です。



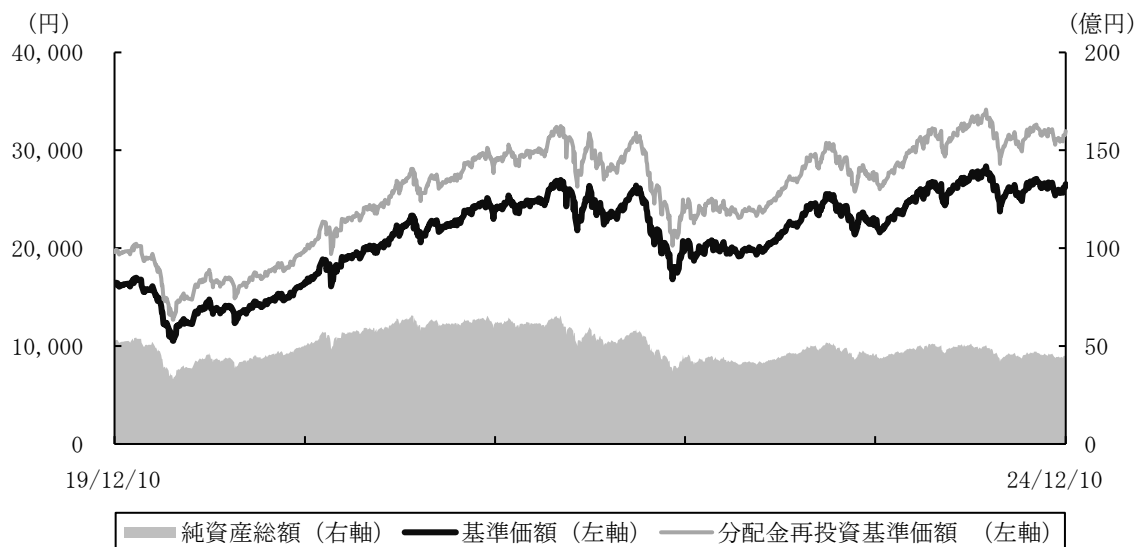
(注1) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

4. 最近5年間の基準価額等の推移 (2019年12月10日～2024年12月10日)



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

	(2019/12/10)	(2020/12/10)	(2021/12/10)	(2022/12/12)	(2023/12/11)	(2024/12/10)
	決算日	決算日	決算日	決算日	決算日	決算日
基準価額 (円)	16,362	16,537	24,134	20,184	22,774	26,531
期間分配金(税込み)合計(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額騰落率(%)	—	1.1	45.9	△16.4	12.8	16.5
参考指数騰落率(%)	—	3.0	55.2	△16.7	11.5	12.8
純資産総額 (百万円)	5,281	5,059	6,207	4,440	4,569	4,546

(注1) 当ファンドは、適切なベンチマークが存在しないため、ベンチマークを設けていません。当報告書では、前営業日の「ベトナムVN指数」の終値を当日の為替レート(投信協会発表)で邦貨換算した数値を参考指数として表示しています。

(注2) 騰落率は1年前の決算日との比較です。

(注3) 期間分配金は、年間の分配金を合計して算出しています。

5. 投資環境 (2024年6月11日～2024年12月10日)

<株式市場>

- ・参考指数のベトナムVN指数は1,200ポイントから1,300ポイントのボックス圏で推移しました。期首1,287.58ポイントの水準から上下しつつ、11月以降は、ドナルド・トランプ次期米大統領による米中貿易摩擦の激化、関税引上げリスクなどの不透明要因から1,200ポイント近辺まで調整する場面がありました。期末には1,273.84ポイントと1.1%の下落となりました。
- ・ベトナムの第3四半期(7-9月期)の実質国内総生産(GDP)の前年同期比は7.4%に回復し、10-12月期も7.5%の高い成長となりました。一方、消費者物価指数(CPI)上昇率は第3四半期には3.48%となりましたが、エネルギー価格や為替のドン安米ドル高も一服したため、10月以降は2%台に下落しており、十分コントロールできる範囲に落ち着いています。
- ・個々の企業収益は成長を維持している中で、足下のベトナム株式市場の予想PER(株価収益率)は10倍程度に低下し、割安な水準となっています。
- ・ベトナムの経済成長を牽引する主な原動力は海外からの直接投資(FDI)と貿易です。米国の保護主義的経済政策の潜在的な悪影響は懸念されるものの、トランプ大統領1期目のベトナムの輸出は大幅に増加した実績があり、2期目となる今後についても米国や世界市場に対するベトナム市場の魅力と競争力は変わらないものと想定しています。

<為替市場>

- ・当期のドン円相場は期首の0.006175円/ドンで始まり、期末は0.005970円/ドンと期首比3.3%のドン安円高となりました。ベトナムドンは10月以降対米ドルでドン安ドル高となりましたが、ベトナム中央銀行による為替介入もあり25,400ドン/ドルの水準で落ち着いています。他方、円は対米ドルで期末にかけて155円/ドルから150円/ドルへ若干の円高方向で推移したため、クロスでのドン円相場についてもドン安円高となりました。

6. 当該投資信託のポートフォリオ（2024年6月11日～2024年12月10日）

<ベビーファンド>

CAMベトナムマザーファンドの組入れは高位を維持しました。

<マザーファンド>

- ・銀行と不動産セクターをアンダーウェイトとしています。
- ・ITセクター、鉄鋼、化学などの素材セクター、消費財セクターが長期的には有望と判断し、これらのセクターをオーバーウェイトしています。
- ・期中の主な売買は以下の通りです。

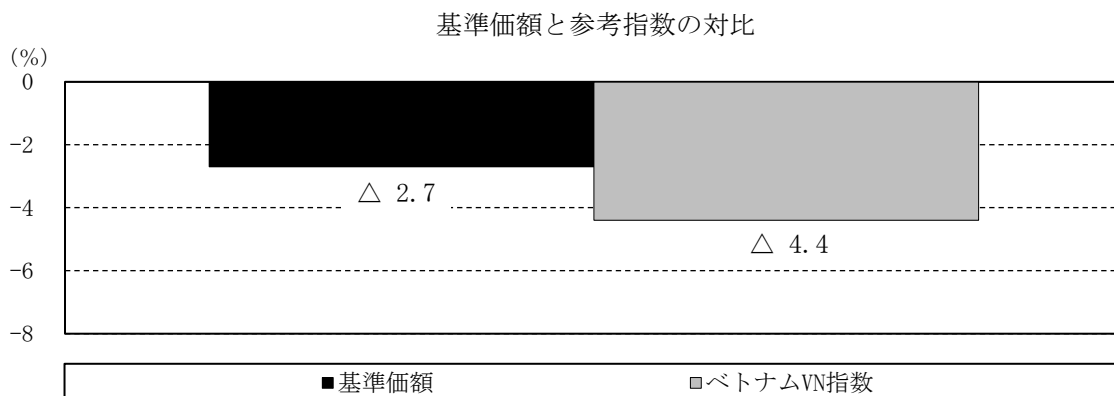
買入：無し

売却：ペトロベトナム・ガス、FPT、ビンホームズ、デジワールド、ビンコム・リテール

- ・当期のポートフォリオは、ディフェンシブ性と成長性を維持する結果となりました。最終的に、当ファンドのパフォーマンスは前期比2.7%の下落となりました。円ベースで同4.4%下落した参考指数に対し若干のアウトパフォーマンスとなりました。

7. 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けていません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注1) 基準価額は分配金（税引前）込み。

(注2) 当ファンドは、適切なベンチマークが存在しないため、ベンチマークを設けていません。当報告書では、前営業日の「ベトナムVN指数」の終値を当日の為替レート(投信協会発表)で邦貨換算した数値を参考指数として表示しています。

8. 分配金

分配原資、基準価額水準等を勘案し、当期の収益分配は以下の通りとさせていただきます。
留保益は、「基本方針」および「運用方法」に基づいて運用します。

(単位：円、1万口当たり・税引前)

項 目	第 29 期
	2024年6月11日～ 2024年12月10日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	18,031

(注1) 当期の収益は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、当期の収益以外は収益調整金および分配準備積立金です。

(注2) 対基準価額比率は、当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金(税引前)と一致しない場合があります。

◆ 今後の運用方針 ◆

<ベビーファンド>

- ・引き続き、CAMベトナムマザーファンドの組入れは高位を継続することとします。

<マザーファンド>

- ・トップダウン分析とボトムアップ分析を組み合わせたアプローチで運用を継続します。
- ・ファンダメンタルズが堅調な銘柄に割安な水準で投資し中長期で収益を獲得することを目指します。
- ・引き続き、ITや素材、消費財などをオーバーウェイトする一方で、不動産、銀行のアンダーウェイトを当面継続します。

◆ お知らせ ◆

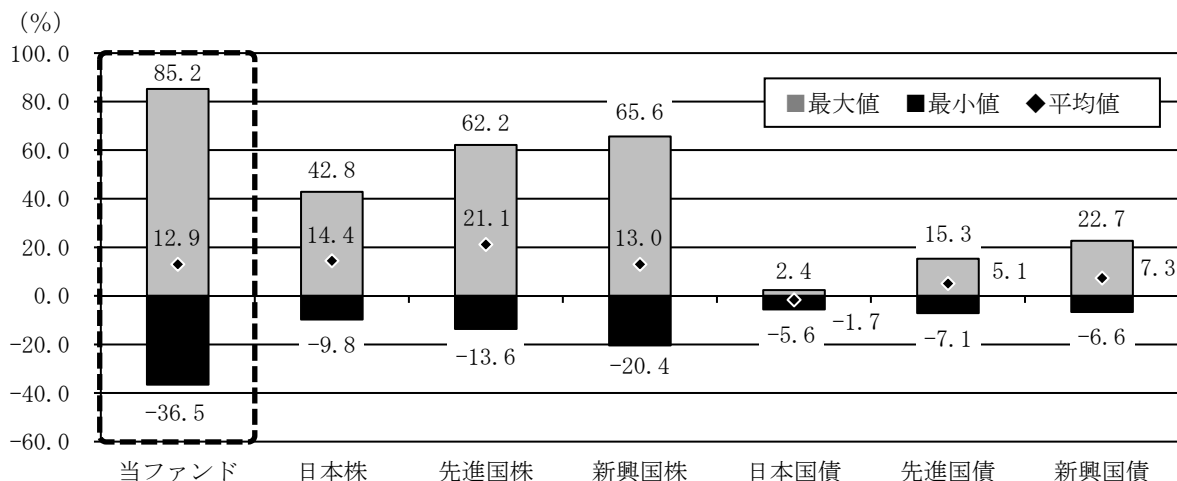
該当事項はございません。

◆ 当該投資信託の概要 ◆

商品分類	追加型投信／海外／株式	
信託期間	無期限(設定日：2010年8月10日)	
運用方針	ファミリーファンド方式により、信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	ベビーファンド	CAMベトナムマザーファンドの受益証券
	CAMベトナムマザーファンド	ベトナムの取引所に上場している株式
運用方法	CAMベトナムマザーファンドの受益証券への投資を通じて、主としてベトナムの取引所に上場している株式、ならびに世界各国・地域の取引所に上場しているベトナム関連企業の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目標とした運用を行います。銘柄選定にあたっては、企業収益の成長性や財務健全性などを勘案して厳選します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いませんが、機動的に市場変動に対応することがあります。	
分配方針	毎決算日(年2回、原則として6月10日、12月10日)に、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合等には分配を行わないことがあります。	

◆ ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較 ◆

(2019年12月～2024年11月)



(注1) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 過去5年間の各月末における年間騰落率の最大・最小・平均を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

(注3) 各資産クラスの指数につきましては最終ページをご覧ください。

(注4) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、邦貨換算しています。

(注5) 騰落率は当期末の直近月末から遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

(注6) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

◆ 当該投資信託のデータ ◆

1. 当該ファンドの組入資産の内容 (2024年12月10日現在)

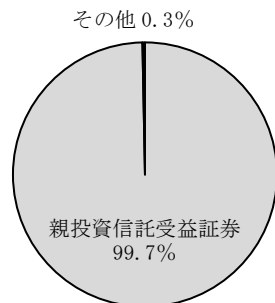
● 組入 (上位) ファンド・銘柄等

	組入比率
CAMベトナムマザーファンド	99.7%
その他	0.3%

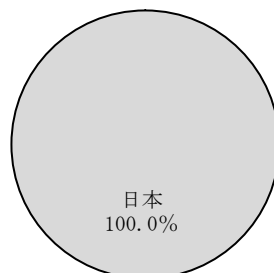
(注1) 組入比率は、純資産総額に対する割合です。

(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載されています。

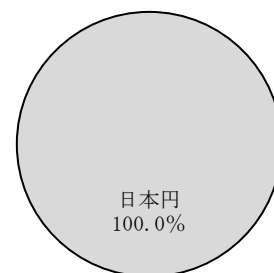
● 資産別配分



● 国別配分



● 通貨別配分



(注1) 資産別配分比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別・通貨別配分比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分比率は、発行国・地域で区分しています。

(注3) 各比率の合計が四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

2. 純資産等

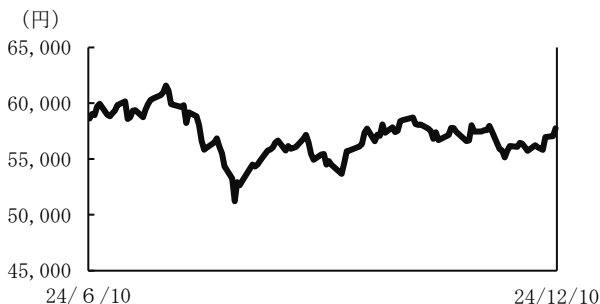
項 目	第29期末 2024年12月10日
純資産総額	4,546,402,104円
受益権総口数	1,713,613,759口
1万口当たり基準価額	26,531円

(注) 当期間における追加設定元本額は9,362,762円、同解約元本額は159,303,800円です。

3. 組入上位ファンド（銘柄）の概要（2024年12月10日）

【CAMベトナムマザーファンド】

● 基準価額の推移



● 1万口当たりの費用明細

項目	当期
(a) 売買委託手数料 (株 式)	7円 (7)
(b) 有価証券取引税 (株 式)	5 (5)
(c) その他費用 (保管費用等)	32 (32)
合計	43

● 組入上位 10 銘柄

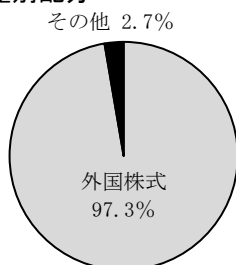
銘柄名	通貨	比率(%)
FPT Corp	ベトナムドン	9.7
Bank for Foreign Trade of Viet	ベトナムドン	8.9
Vietnam Joint Stock Commercial	ベトナムドン	4.9
Vietnam Prosperity JSC Bank	ベトナムドン	4.6
Bank for Investment and Develo	ベトナムドン	4.4
Asia Commercial Bank/Vietnam	ベトナムドン	2.9
PetroVietnam Gas JSC	ベトナムドン	2.9
Mobile World Investment Corp	ベトナムドン	2.9
Saigon Thuong Tin Commercial J	ベトナムドン	2.9
Masan Group Corp	ベトナムドン	2.4
組入銘柄数	71銘柄	

(注1) 当マザーファンドの純資産総額に対する比率です。

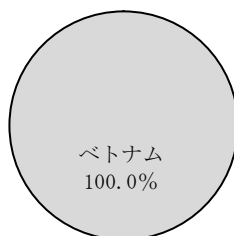
(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

(注) 費用項目の概要及び注記については、2頁の費用明細をご参照下さい。

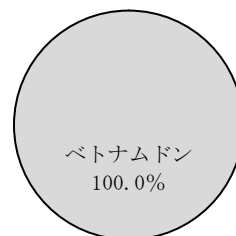
● 資産別配分



● 国別配分



● 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、組入上位銘柄、資産別・国別・通貨別のデータは2024年12月10日現在のものです。

(注2) 1万口当たりの費用明細は、「CAMベトナムマザーファンド」の直近の決算期のものです。費用項目については2頁の注記をご参照ください。

(注3) 資産別配分比率は純資産総額に対する評価額の割合、国別・通貨別配分比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注4) 国別配分比率は、発行国・地域で区分しています。

(注5) 各比率の合計が四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

◆ 指数に関して ◆

<代表的な各資産クラスの指数>

日本株：Morningstar 日本株式指数	日本国債：Morningstar 日本国債指数
先進国株：Morningstar 先進国株式指数(除く日本)	先進国債：Morningstar グローバル国債指数(除く日本)
新興国株：Morningstar 新興国株式指数	新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数

海外資産の指数については、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数値を使用しています。上記各指数は、全て税引前の利子・配当込みの指数値を使用しています。

<各指数の概要>

日本株：Morningstar 日本株式指数は、Morningstar, Inc. が発表している株価指数で、日本に上場する株式で構成されています。

先進国株：Morningstar 先進国株式(除く日本)指数は、Morningstar, Inc. が発表している株価指数で、日本を除く世界の先進国に上場する株式で構成されています。

新興国株：Morningstar 新興国株式指数は、Morningstar, Inc. が発表している株価指数で、世界の新興国に上場する株式で構成されています。

日本国債：Morningstar 日本国債指数は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、日本の国債で構成されています。

先進国債：Morningstar グローバル国債(除く日本)指数は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、日本を除く主要先進国の政府や政府系機関により発行された債券で構成されています。

新興国債：Morningstar 新興国ソブリン債指数は、Morningstar, Inc. が発表している債券指数で、エマージング諸国の政府や政府系機関により発行された米ドル建て債券で構成されています。

<重要事項>

当ファンドは、Morningstar, Inc.、又はモーニングスター・ジャパン株式会社を含むMorningstar, Inc. が支配する会社(これらの法人全てを総称して「Morningstarグループ」と言います)が組成、推薦、販売または宣伝するものではありません。Morningstarグループは、投資信託への一般的な投資の当否、特に当ファンドに投資することの当否、または当ファンドが投資対象とする市場の一般的な騰落率と連動するMorningstarのインデックス(以下「Morningstarインデックス」と言います)の能力について、当ファンドの受益者又は公衆に対し、明示又は黙示を問わず、いかなる表明保証も行いません。当ファンドとの関連においては、委託会社とMorningstarグループとの唯一の関係は、Morningstarのサービスマーク及びサービス名並びに特定のMorningstarインデックスの使用の許諾であり、Morningstarインデックスは、Morningstarグループが委託会社又は当ファンドとは無関係に判断、構成、算定しています。Morningstarグループは、Morningstarインデックスの判断、構成又は算定を行うにあたり、委託会社又は当ファンドの受益者のニーズを考慮する義務を負いません。Morningstarグループは、当ファンドの基準価額及び設定金額あるいは当ファンドの設定あるいは販売の時期の決定、または当ファンドの解約時の基準価額算出式の決定あるいは計算について責任を負わず、また関与しておりません。Morningstarグループは、当ファンドの運営管理、マーケティング又は売買取引に関連していかなる義務も責任も負いません。

Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータの正確性及び/又は完全性を保証せず、また、Morningstarグループは、その誤謬、脱漏、中断についていかなる責任も負いません。Morningstarグループは、委託会社、当ファンドの受益者又はユーザー、またはその他の人又は法人が、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータを使用して得る結果について、明示又は黙示を問わず、いかなる保証も行いません。Morningstarグループは、Morningstarインデックス又はそれに含まれるデータについて明示又は黙示の保証を行わず、また商品性あるいは特定目的又は使用への適合性に関する一切の保証を明確に否認します。上記のいずれも制限することなく、いかなる場合であれ、Morningstarグループは、特別損害、懲罰的損害、間接損害または結果損害(逸失利益を含む)について、例えこれらの損害の可能性を告知されていたとしても責任を負いません。